

ワークショップテーマ【1】

自分が子どもだった頃と今の子ども ここが違う

危険なところで遊んでいた	ゲーム以外の楽しみがなかなか見つけられない子どもが多いかな？	優しい子どもが多い	昔は自然遊びをよくしたが、今はゲームとかの遊びをよくしている
昔は近所の駄菓子屋でたまり場になっていた	インターネットでいろいろな情報に触れているので、興味関心が広い(夢が大きい)	優しい子どもが多くなったと思う	木登りをしていた 今は家で遊ぶ子どもが多いかな
秘密基地を作って遊んでいた	自分で考えて行動するのが苦手かも・・・	他人のことを昔の子どもより考えていると思うが、達観しすぎている感じもする	体験活動の少なさ(生活体験)
	制限されることが多いように思う	情報機器を上手に使える	外で遊ぶ機会が少ない
	友達や大人を気にしすぎている気がする		虫が触れない、土に触れない(汚いのが極端に苦手)
	将来必要な力が見通しにくい	年齢の違う子どもとも仲良くなれる	山や川で遊ばない 子どもだけの行動範囲が狭い(家の中でゲームとか)
	価値観の多様性(新旧)		外遊びが少なくなった
親が学校へ来る機会というのが今のようになかった	様々な情報や物があふれている	年の離れた友達(近所の人)とのかかわりがあまりない	マッチとか缶切りとかカッターが使えない
		子ども同士で遊びにくい(近くにそもそもいない場合も)	工作など手を使った物作りの経験が少ない
		子ども同士でのトラブルを解決する経験が少ない(大人の介入)	

ワークショップテーマ【1】 自分が子どもだった頃と今の子ども ここが違う

自転車で少し遠い友達の家まで行かない(親が車で送っていく)	子どもの数が少なく、競争心が弱い	ランドセルが重い	今の方が自由なようで自由じゃない
雨の日、自動車で送らないといけない(昔は歩くのがあたりまえ)	道具を使って細かい作業などをすることが減った(ナイフ、靴紐なども)	地区の遊びや行事で色々体験した(川、山、自然の中で)	自由度が違う 昔の方が自由に行動できることが多かった
昔は、先輩後輩との関係が大変だったが、今は異年齢仲良しの気がする	今は外で遊べない、遊び方を知らない	地区に子どもが少なく、子供会もなくなり、子ども達の遊びが少なくなった	自分で考え、工夫する
	ヤンチャだった(どろんこで遊ぶ)	地区に子どもがたくさんいて、子供会や地区行事が盛んだった	課題を見つけ解決に向け努力する
今は自分の好きな事をつきつめる事が出来すぎて他の情報に疎い	危ないからと川や山へ行かせていない(昔は友達と行っていた)	昔は必ずだった事があいまい(ラジオ体操や地区の行事など)	遊ぶことが人を介することが多かった
	体験する場が少なく、安全面など色々規制がある	安全でなくなった(登下校等)	一人で遊ぶことよりも友達と一緒に遊んだ
今は集団行動が正解ではない		異年齢の人たちとよく遊んだ	友達とケンカしても自分たちで仲直りした
	今は忙しい	異年齢で遊ぶ機会が少ない	子どもに興味ありそうな物が多い(ゲームや動画等)
情報は少なく、人とのふれあい、遊びなどから色々学んだ	習い事が増えた	外でよく遊んだが、今はゲームばかりになりがち	
今は情報量が多い		家の中で遊ぶより外でよく遊んだ	

土曜日が休み	遊び方が、今はゲームなどが多い
土曜日が休みになり、授業数が足りているのか	昔は自分たちで考えて遊んだり、教えてもらって遊ぶことが多かった
	情報が多く、すぐスマホ、ゲームで遊ぶ
	ゲームが主で、外で遊ぶことが少なくなった
	家の中で過ごすことが多い
	今は家の中で過ごすことが多い
	近所に子どもがいないので、放課後集まることが難しくなった
	近所にすぐ遊べる友達がいらない

ワークショップテーマ【1】

自分が子どもだった頃と今の子ども ここが違う

近所に同学年のお友達がいたので帰って来て外で遊んでいたが、今は他学年の子達と遊んでいる	スマホがある	規制がたくさんある	自然の中で遊ぶのに制約が多い
あまりおこられない	男女分かれて遊ぶ	子ども同士で遊べる機会が少ない	メディアに接する時間が長い
ゲームは将棋、コマ、めんこなどしかなかった	一緒にいてもゲーム(スマホ)を別々にしている		
今は習い事がたくさんある 昔はスポーツ系のクラブが少なかった気が...	ゲームのレベルが違う	地域の行事が少なくなった	親がすぐに手助けするようになった
自由度は高い	男の子と女の子は別々の行動だった	家に引きこもりがち	食生活が偏っている
ふるさとが好き	控えめな子が多い	昔と比べて今の子どもは体力がない子が増えているように思う	魚釣りをよくした
色々な物がすぐに手に入る	大人しい		外で遊ばなくなった
色々な情報が溢れている			近所には必ず年長のリーダーがいた
ネットが使って誰とでも連絡がとれる			

ワークショップテーマ【2】

義務教育学校で どんな力をつけて欲しいか

自分で自分をコントロールできる力(自立・自律)	人と協力してがんばる力	生活→家庭、学習→学校 義務教育学校になるなら地域のことをぜひ	自ら学ぶ力
主体性	失敗しても立ち直る力	竹野(地元)を好きになれるような力	個性が活かせるような(発揮できる)力
たくましさ	高め合う力	竹野を愛する力	応用力(これはアレにも使えるかな、とか) 自分の生活を便利にできる
思いやり	自分も他者も大切にできる力	自然の知識(竹野がジオパークであること→ジオパークって何なのか)	色々な考え方、やり方があることを学んでほしい
集団生活の中で、協力、助け合いができる	失敗してもOKと思える力	地域の人と関わり合いがあり、皆で支え合える力	勉強、部活以外にも夢中になれる何かがある力
他者と協力して、新しいことを創る力	色々な友達とかかわり、コミュニケーション力を育ててほしい		学びを楽しむ、学び続ける力
メタ認知能力(自分を客観視する)	生活力(ごはんの作り方) 大きくなってから困らないように		自分の想いを伝え、周りの子の意見を聞ける力(コミュニケーション力)
自己発揮力と、人の思いを受け止める力、時には我慢ができる	仲間と協力して課題を解決することができる力	地域の学習を生かして心を育てる	
自分で考え、粘り強く物事に取り組める力	異年齢の子とも分け隔てなく接することができる力	学習の学びができる	
		竹野の事だけというよりは、自然全体を楽しむ力を	

ワークショップテーマ【2】

義務教育学校で どんな力をつけて欲しいか

挨拶ができる	学力	自分の事を知る力	友達の良さを見て、認め、褒め合う力
笑顔で挨拶	学力	ひとりでやりきる力	協力して学び合う
いつでも笑顔	基礎学力の定着	自主性	年上の人、年下の人共に仲良く過ごす
困っている子などに寄り添える優しい子		自分で何でも出来るようになる	外国語でコミュニケーションできる力
人の気持ちが分かる	思いやる心	自分で考え判断し、行動する力	外国語能力の向上
	思いやりのある子	主体的に学ぶ力	情報に惑わされず選べる(見る)力
やりぬく力		自分で学ぶ、学び方	討論したり話し合う力
人を大切にし、人との対話を大切にしたい	健康な身体	〇〇やりたい！と思う力	お互いの違いを自然に認め合う力
どこでも生き抜く図太さ	体力	コミュニケーション力	色々なことに興味を持って自分で考えてやってみる力
協力すること	体力	コミュニケーション力、空気を読む力	問題が起きた時に、どうやったら解決できるか考えたり相談して解決しようとする力

健康でたくましい身体	人の話をよく聞いて理解する力	自ら工夫し、課題解決する力
	色々な立場から客観的に物事をとらえる	自分で課題を見つけ努力を続ける
	夢を持つ	
	自己肯定力UP	
	強くなやかな心(竹みたいに)	

ワークショップテーマ【2】 義務教育学校で どんな力をつけて欲しいか

異年齢のコミュニケーション	地域の中で率先して動ける	体力	問題にぶつかった時の対応力
友達の話聞く力(聞ける力)	得意な事が見つけられ、それを伸ばす	自然体験を通じた学びの楽しさ	基礎学力
多様な遊び	友達と計画する力	創ることを楽しむ力	つまづき方、こけ方
自分の考えを言える	部活	議論し合う力	
折り合いをつける力	多数ではなく自主性をもつ(自分の思い)	畑など食育	創造する力(ワクワク)
人の意見が聞ける	人の気持ちを思える	複数の情報を関連づけて自分なりの考えを生み出す力	自分の事を”出来る”と信じる力
9年の差があるので、コミュニケーションの力	人の話をきちんと聞く	情報処理(パソコン)	物怖じしない心
			身の回りへの好奇心

ワークショップテーマ【3】

子どもたちに どんな学習内容を学ばせたいか

海、川、山で遊びながら学ぶ	縦割り給食	9年間を通して系統性のある学習
地域学習(竹野の歴史、竹野の自然等)	子ども主体、異学年の遊び学び	基礎基本(読み、書き、計算)
買い物実習(〇〇円以内で〇〇を買うとか)	7年生、8年生、9年生が小学校の学習を先生になって教えに行く異学年交流	わかりやすい算数
	縦割り掃除、縦割り遊び	
地域と世界をつなぐ(ローカル&グローバル)	異学年の意識づけが重要(たてわり)	
発信する力(世界から見た竹野)		
地域の人を講師としたふるさと学習	リーダーシップを学ぶ	
城山登山、轟城、竹野鉾山	自分の意見を話し合える(こどもワークショップ、こども会議)	
学校外での地域での学習		
	スペシャリスト(プロ)に学ぶ	

ワークショップテーマ【3】

子どもたちに どんな学習内容を学ばせたいか

竹野について調べアピールする(観光)	体験活動(行事)の充実 実体験から学ぶ		教師の質の向上
	体験から学ぶ		
地域の方と一緒にする活動		子どもが学び合う	生き物や植物を育てる
地元の人が先生になる授業	季節の行事を体感する(田植え、稲刈り、いかだづくり)		竹野川を下る(手作りいかだ)
学校、保護者、地域が一体となった授業	伝統的なもの(餅つき、しめ縄作り等)	交換留学(豊岡小、五荘小とか)	自然に触れる授業
時には外部から講師に来てもらう(少し有名な)	旬を知る授業	学生同士の連携学習	自然と学科を結び付けた授業
			海山川について学び、探究して体験
移住の外国人、観光客の外国人と交流会			遠泳復活
文法などでない英会話			海が近いので“ういてまで”を継続して欲しい
			遠泳復活

ワークショップテーマ【3】

子どもたちに どんな学習内容を学ばせたいか

芸術教科の充実(美術、音楽)	畑づくり(自然のしくみ)	選挙ごっこ
楽しい理科	地域のレジェンドと交流	基礎学力(小中の関連を伝える)
性教育	地域の良さを知る	体験学習(教科書にない事)
数学、国語の基礎学習	ふるさとに誇りを持てる教育	現場の生の声(ゲストティーチャー)
料理(食育)	地域の問題をディベート	日本語について
国語(読解力)	子どもだけで海山遊び計画	他学年と課外授業
英語	竹野の自然(山、川、海、田畑)を利用したふるさとの教育	お金のこと
体力づくり(体育)		実験、探検
		自分の事を知る
		性教育